

竹取物語

今は昔、竹取の翁といふもの  
ありけり。野山にまじりて竹を  
取りつつ、よろづのことに使ひ  
けり。名をば、さぬきのみやつ  
ことなむいひける。

その竹の中に、もと光る竹な  
む一筋ありける。あやしがりて、  
寄りて見るに、筒の中光りたり。  
それを見れば、三寸ばかりなる  
人、いとうつくしうておたり。